

# 日建設計「PYNT東京」における 地震ザブトン + SYNCVR 体験スペースのご案内

株式会社日建設計 東京ビル3階に位置する共創拠点「PYNT(ピント)東京」には、来訪者が地震時の揺れや建物内の状況を体験できるスペースとして「地震体験ポート」が設けられています。この地震体験ポートは、建物・設備・インフラを含めた耐震・防災に関する検討や関係者間の情報共有を行う場として運営されており、事業者、デベロッパー、自治体、研究者など、多様な立場の来訪者の利用を想定した構成となっています。

当該スペースの一部において、可搬型地震動シミュレーター「地震ザブトン」とVRシステム「SYNCVR<sup>\*1</sup>」を組み合わせた体験環境が設置されています。

この地震体験では、あらかじめ設定された地震動データを用いて、建物の高さや階層条件に応じた揺れを再現します。また、VR空間内にSYNCVRで生成した室内モデルを通じて、地震時の揺れや室内の状況を視覚的に確認できます。

「PYNT東京」を訪れる関係者を対象に、同施設の運営方針および利用形態に基づいて実施されています。

<sup>\*1</sup>: SYNCVRは、株式会社日建設計および株式会社ジオクリエイツの登録商標です。



## 地震ザブトン+SYNCVRについて

「地震ザブトン+SYNCVR」では、任意の地震動記録を入力するだけで、建物の高さに応じたリアルなVR地震体験が可能です。過去の地震観測記録や想定地震動記録、建物の応答解析記録を用いた地震体験を容易に提供でき、建物構造によって異なる耐震性能の違いや、家具転倒対策による室内被害の差を分かりやすく伝えることができます。



### 地震ザブトン

地震観測装置メーカーである白山工業が大学との共同研究によって生み出した室内専用の超小型地震動シミュレーター。過去の地震観測記録や今後発生可能性のある想定地震記録を用いて大地震の揺れを再現でき、同期するSYNCVRで生成された室内被害映像を見ることで、揺れによる被害をリアルに想起させます。



### SYNCVR

株式会社日建設計と株式会社ジオクリエイツが共同開発した仮想地震体験のためのVRシステム。建築主と設計者が耐震コミュニケーションを円滑に行うためのプロフェッショナルツールです。VR空間のモデルは、設計図として利用するBIMデータを用いて作成しており、入力地震動に応じて転倒・落下・移動する仕器や家具類の動きを毎回演算して描写します。<sup>\*2</sup>

<sup>\*2</sup>: VR空間の地震被害は、実際とは異なる可能性があります。

